

2021年11月15日

2021年度「肥銀ギャップ資金制度」贈呈式の実施について

当行は、2021年度「[肥銀ギャップ資金制度](#)」（以下、ギャップ資金）により、研究者の事業化支援を致しましたので、お知らせいたします。なお、本取組は昨年につき2回目となります。

今後もギャップ資金を通じて県内の大学等の研究・開発段階にある技術やノウハウを事業化に繋げて、熊本発の新たなビジネス創出による地域活性化に貢献してまいります。

記

研究者名（50音順）	内容
熊本大学大学院先端科学研究部 助教 稲田 シュンコ アルバーノ	癌を克服する体内植込み型フォトニクス治療デバイス開発
熊本大学大学院先端科学研究部 助教 勝田 陽介	次世代型核酸医薬による希少疾患治療法の確立
尚絅大学生活科学部栄養科学科 教授 狩生 徹	新規歯周病予防薬開発に必要なマウスモデルの開発
熊本大学大学院先端科学研究部 助教 北村 裕介	核酸アンプ機構を利用した腫瘍細胞の簡易検出法の開発
熊本大学大学院生命科学研究部 准教授 首藤 剛	健康寿命の「見える化」技術 C-HAS の事業化を企図した基盤・応用研究
熊本大学大学院先端科学研究部 准教授 宗像 瑞恵	世界最効率ドローン用プロペラの開発
熊本大学生命科学研究部 特任助教 森永 潤	健康長寿社会実現に向けた、生体 Master warning バイオマーカーの開発

以上

【贈呈式の模様】11月12日（金）肥後銀行大会議室にて



※「肥銀ギャップ資金制度」・・・県内の大学・高等専門学校で深められた研究を事業化するにあたり、最大の課題の一つである資金面を本制度で支援し、新しい技術や研究を事業として創出する事を目的とした制度。

《本件に関するお問い合わせ》
肥後銀行 地域振興部
担当：横田、平尾
電話：096-326-8609